



1. 西側からの全景
2. 駐車場を地下に設け、地上には多様な植樹を行っている
3. 約9畳のバルコニーをすべての住戸に設置。屋内外が一体化した「アウトドアリビング」が楽しめる
4. 南向きに設けられた大きな窓からは、心地よい陽の光が差し込む



日建連表彰 2020



第61回 BCS賞

パッシブタウン黒部 第1街区

選定理由

【選考委員】
野城智也・赤松佳珠子・菅 順二

黒部の自然を活用したパッシブデザインの集合住宅を建設し、生活リズムを与え居住空間を活性化し、かつエネルギー消費量を抑える住まい方を実現するという方針のもと、建設と運用を通して地域の活性化や街づくりに貢献しようとする挑戦的な作品である。

異なる設計者による複数街区の集合住宅であるが、今回対象の第一街区計画においてパッシブタウン全体の街区コンセプトの基本方針を定めている。社宅だけでなく一定戸数を一般にも開放し、自然と地域に開いた環境と住宅を開発することを事業企画として強く打ち出し、計画・設計面では、パッシブハウスとしてのさまざまな建築的な工夫と提案がされている。

まず、各部屋に通風、特に「あい

環境面での対応は、地域風、地下水、太陽光、木チップといった再生エネルギーと地産素材の利用をテーマにしている。夏季冷房に地下水を利用、壁の輻射パネルで温度を調整し、次に床へ循環。その後、商業棟のHP熱源に利用し、さらに外構散水とし地面に浸透させている。

冬季は、バイオマスボイラーと太陽熱を熱源とし壁と床の輻射システムに温水を通すことで放射対流暖房としている。バイオマスボイラーは冬季に毎日燃やしているが、帰宅すると温かい部屋が迎えてくれる。居住者の満足度が高いという。チップの供給は産廃コンテナを改

の風」と言われる夏の風を取り入れるために、外部吹抜けを囲む各戸平面とし屋上に通風促進のためウインドベーンを設置している。また、風向きに対応できるような窓に多様な開放形式を採用している。外断熱のRC造居住部分を挟んでS造のテラスと外廊下を設置し、南側のテラスは環境制御装置として設けている。S造としているのは、熱橋となる居住部分との接点を極力少なくするためである。パイプシャフトも熱橋とならないよう住戸の内部に取り込んだ配置だが、メンテナンス上の課題は残る。ランドスケープは彫刻的モニュメントが配され、混栽された植樹も美しく魅力的で地域に開放されている。

施工面では、住宅用樹脂サッシをRC開口部に施工した木枠に取り付けており、断熱材と止水納まりを工夫している。

良し運搬システムを開発している。これらにより二次エネルギー予測値は一七・二GJ/年戸、北陸の集合住宅推定値四三・〇GJ/年戸の六〇%削減を達成している。

維持管理面では、専門家を交えた効果・削減目標実現・快適性等の性能検証を行い、建築主、設計者、施工者により竣工後定期的に課題解決を図っている。パッシブデザインの集合住宅街区の建設と運営を地域交流の受け皿とし、地域の自然を活用した新しいライフスタイルの発信を企業活動として行っていることも含めて、この作品の意義は深い。

パッシブタウン黒部 第1街区 計画概要

- 建築主 YKK不動産(株)
- 設計者 (株)エステック計画研究所、(株)プレイスメディア
- 施工者 戸田建設(株)
- 所在地 富山県黒部市三日市4016-1
- 竣工日 2016年2月29日

- 敷地面積 5,788m²
- 建築面積 2,141m²
- 延床面積 6,500m²

- 階数 地上3階、地下1階
- 構造 鉄筋コンクリート、一部鉄骨造



詳細や他の写真などは
左記のQRコードから
Webページに
アクセスしてご覧ください。

《日建連表彰 2020 第61回BCS賞受賞作品》 追手門学院大学 Academic Ark / オーテピア 高知新図書館等複合施設 / 関西外国語大学 御殿山キャンパス・グローバルタウン / 資生堂グローバルイノベーションセンター S/PARK / 上越市立水族博物館 うみがたり / 水天宮御造替 / 須賀川市民交流センターtette / 東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス / 豊中市立文化芸術センター / とらや 赤坂店 / NICCA イノベーションセンター / 日本橋二丁目地区プロジェクト / パッシブタウン黒部 第1街区 / 日向市庁舎 / 福井県年輪博物館

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2020年で61回を数えました。